

福岡県

自分らしい生活に向けて

県、市町村、精神科病院、障害福祉サービス事業者等の関係者により構成された「精神障害者自立支援関係機関会議」を県内（政令市は除く）9保健所毎に開催し、市町村、精神科病院、障害福祉サービス事業者等支援関係機関との連携強化等の取り組みを平成22年度から実施している。

また、精神障害者の地域定着を促進するため、平成29年から①支援関係機関による処遇プラン（クライシスプラン）による支援②こころの健康手帳（地域連携パス）による支援を行うこととしている。

1 県又は政令市の基礎情報

福岡県



取組内容

- 精神障害者社会復帰促進事業
- 精神障害者地域定着推進事業
- 精神障害者訪問指導体制強化事業
- 精神障害者に対する偏見・誤解の是正を図る講習会の開催

基本情報（政令市を除く）

障害保健福祉圏域数（H29年1月末）	13カ所		
市町村数（H29年1月末）	58市町村		
人口（H28年10月末）	2,595,017人		
精神科病院の数（H27年3月末）	63病院		
精神科病床数（H27年3月末）	13162床		
入院精神障害者数 （政令市を含む） （H26年6月末）	3か月未満：3,422人（18.0%）		
	3か月以上1年未満：3,156人（17%）		
	1年以上：12,469人（65%）		
	うち65歳未満	5,277人	
	うち65歳以上	7,192人	
退院率（H26年6月末）（政令市を含む）	入院後3か月時点：53.7%		
	入院後6か月時点：78.7%		
	入院後1年時点：85.9%		
相談支援事業所数（H29年1月末）	基幹相談支援センター：13		
	一般相談事業所数：133		
	特定相談事業所数：441		
障害福祉サービスの利用状況 （H28年9月）1か月間	地域移行支援サービス：17人		
	地域定着支援サービス：59人		
保健所（H29年1月末）	9カ所		
（自立支援）協議会の開催頻度（H27年）	2回/年		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	都道府県	有・無	1カ所
	障害保健福祉圏域	有・無	13カ所
	市町村	有・無	1カ所
精神保健福祉審議会（H28年3月末）	1回/年、委員数16人		

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

①地域定着推進事業による取組について

取組

病状悪化時の対応方法を記載した処遇プラン（クライシスプラン）を支援関係機関で共有し、地域で生活する精神障害者の再入院防止や入院期間の短縮を図る。

取組

精神障害者が安心して自分らしい暮らしをすることができるように、自分の希望や支援してもらいたい内容を記入したところの健康手帳（地域連携パス）を障害者本人が所持し、支援関係機関に提示することで、支援を受けたい時に希望に沿った支援を行うことができる仕組みをつくる。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組む圏域

関係機関の役割		
市町村ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	糸島市自立支援協議会精神専門部会
	協議の内容	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の情報交換、情報共有、事例検討 精神障害に関する課題抽出、解決策検討
	協議の結果としての成果	<ul style="list-style-type: none"> (H28年度) 精神障害者に対するアンケートの実施（現在アンケート内容を協議中）
障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	糸島地区精神障害者社会復帰促進事業関係者会議
	協議の内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域における精神障害者の地域生活に必要な社会資源の把握と情報提供 地域生活のための課題の抽出と解決策の整理 受け入れ条件が整えば地域生活が可能な精神障害者及び地域で生活している精神障害者で地域での生活継続に支障が生じている者等の具体的な支援策の検討
	協議の結果としての成果	<ul style="list-style-type: none"> 長期入院者の地域移行推進に関する研修会の実施 ピアサポートに関する研修会の実施 小中学校を対象とした啓発事業
都道府県ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	福岡県精神障害者地域支援事業運営調整委員会
	協議の内容	精神障害者の地域移行・地域定着を支援するための課題検討
	協議の結果としての成果	精神障害者の方々への正しい理解を深めていただくための講演会の開催

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

事業の実施

- (1) 精神障害者社会復帰促進事業（精神障害者自立支援関係機関会議の開催 9か所）
 - ① 地域移行・地域定着の推進に向けた体制の構築
 - ② 地域における地域移行・地域定着の推進に係る課題の抽出と解決
 - ③ 社会資源の情報提供及び開拓
 - ④ 地域移行等に係る支援体制の強化
 - ⑤ 自立支援協議会（市町村の福祉担当課）との連携強化
 - ⑥ 精神科病院と地域関係機関との連携強化
- (2) 精神障害者地域定着推進事業
 - ① 処遇プラン策定の推進（H27年実績：16プラン）
 - ② 処遇プラン事例集の作成（H28年度）
 - ③ こころの健康手帳の作成（H28年度）
- (3) 精神障害者訪問指導体制強化事業（H27年度実績：訪問件数11件）
- (4) 精神障害者に対する偏見・誤解の是正を図る講習会の開催
（H27年度実績：190名参加）

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

特徴(強み)

1. 県が実施する自立支援関係機関会議において支援関係機関と連携し、地域特性に応じた活動を展開している。
2. 個々の措置入院者に応じた退院後の支援体制を構築している

課題

1. 長期入院の精神障害者の地域移行が十分に進んでいない。
2. 地域移行について精神科病院と市町村との連携が十分でない。

指標の推移	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1年以上の精神科病院在院患者数（各年6月30日現在）（人）	12,762	12,469	12,201
地域移行支援利用者数（各年度3月1か月間）（人）	7	10	16
ピアサポーターの養成者数※（実人数）（人） ※ピアサポーターの養成を目的とした取組を実施している場合	実施していない	実施していない	実施していない
ピアサポーターの活動者数（実人数）（人）	把握していない	把握していない	把握していない

平成28年度の目標と達成状況の方向性(暫定評価)

1. 処遇プランによる支援関係機関主体による見守り体制の構築を進めていく
2. こころの健康手帳を活用し、精神障害者の自分らしい生活の実現のための支援を進めていく

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた 平成29年度の実施スケジュール

平成29年度の実施目標

1. 福岡県精神障害者地域支援事業運営調整委員会の開催
2. 精神障害者地域定着推進事業(処遇プラン、こころの健康手帳)の実施促進

時期(予定)	実施内容(予定)	担当
H29年6月	福岡県精神障害者地域支援事業運営調整委員会 開催	健康増進課こころの健康づくり推進室
H29年6月～	精神障害者地域定着推進事業の研修会等の開催(9か所)	県保健所
H30年3月	精神障害者地域定着推進事業の実施状況のとりまとめ及び課題の抽出	県保健所